

METROPOLIS

シアターコクーン・オンレバトリリー2016

だれも観たこともない新しい演劇が生まれる瞬間ー。
物語は歌い踊り、歌も踊りも語り出す！

WRITTEN BY THEA VON HARBOU

DIRECTED AND ARTWORK BY KAZUYOSHI KUSHIDA

メトロポリス

超都市

出演：

子松たか 来水 伊藤 北太郎
未法 岳太 平 圭
山屋野 里 磨 弥子
鮎野 繼 磨 磨 子
佐野 二 原 伸 子
大石 敬 一 千 草
趣 史 博 史
さとう 博 史
内田 胡 二
真那 博 史
大方 斐 紗 子
串田 和美

伊藤 北太郎
平 圭
島田 磨 弥子
浅沼 磨 磨 子
坂原 伸 子
高野 千 草
澤 千 草
安 千 草
平田 奈 奥
エミ エレオノ
青木 タ イ セイ
熊 谷 本 輪

ミュージシャン：

原作：テア・フォン・ハーボウ 訳色：加藤 直
音楽：平田 ナオキ 振付：山田 う ん
演出・美術：串田 和美



2016.11.7-30 (MON) (WED)

Bunkamura シアターコクーン

美しい時代へー東急グループ

SF映画の金字塔、

機械文明の真っ只中で、人々はどこへ向かうのか？ 巨大都市メトロポリス。支配者と労働者には厳然と格差がある世界。労働者たちの唯一の慰めはDJマリアが語る「物語」だけだった。この世界の支配者の息子フレーターがマリアと出会い、心惹かれる。人間とテクノロジーのあり方を問い、同時に父と息子の葛藤、そして若いふたりの運命が交錯する。巨匠フリッツ・ラング監督の無声映画『メトロポリス』と、同名の小説を大胆にアレンジし、串田和美ならではの多彩な音楽と踊りを盛り込んで、演劇の限界を超えていく。現代の『メトロポリス』ここに誕生！ 恐れ知らずの怒涛の舞台化を見逃すな。

メトロポリス 超都市

METROPOLIS

【原作】テア・フォン・ハルボウ【潤色】加藤 直

【音楽】平田ナオキ【振付】山田うん

【演出・美術】串田和美

【出演】



松たか子 森山未來 鮎屋法水 佐野 岳 大石継太 趣里



さとうこうじ 内田紳一郎 真那胡敬二 大森博史 大方斐紗子 串田和美



伊藤壮太郎 島田惇平 浅沼 圭 坂梨磨弥 高原伸子 摩耶リサ 安澤千草

【ミュージシャン】



平田ナオキ エミ・エリノラ 青木タイセイ 熊谷太輔

【スタッフ】

原作：テア・フォン・ハルボウ『新訳 メトロポリス』
 原作翻訳：酒寄進一 台本協力：木内宏昌 (中公文庫)
 照明：齋藤茂男 音響：武田安記 衣裳：堂本教子
 ヘアメイク：中井正人 映像：栗山聡之
 演出助手：長町多寿子 技術監督：櫻綴
 舞台監督：大垣敏朗

宣伝広報：ディップス・プラネット 宣伝美術：榎本太郎 宣伝写真：明緒 宣伝衣裳：森保夫 宣伝ヘアメイク：稲垣亮武【松】、中井正人【森山】

串田和美の演出でついに舞台化！

かつては「遊行者」というのがいて、村の祭りや即席の舞台で、芝居や語り芸をやって、翌日には去って行った。一晩だけ現れて、翌日には消えてしまう存在は、村人たちの記憶にだけずっと残り続けた。僕はそういう芝居を串田さんの作風に感じ、今度もそうした要素が加わればと思う。最初に串田さんに言われたのは「出発となるテキストを書いて」だった。確かに串田さんの稽古場は、テキストに対する思いがけない役者の反応や誤読などを丸ごと引き受けて芝居作りが進んでいく。僕も書いて終わりではなく、稽古での共同作業に加われるのだと思うとワクワクします。

加藤直

加藤さんとは久しぶりの再会で、台本だけ頼むのは初めてだけど、僕がずっと探している演劇の形や醍醐味について、話が通じる相手。だから、今回、新しい演劇が生まれる予感を感じている。演劇の楽しみはいろいろあって、当然、その中には、踊りや音楽があって、演技や語りがある。「語り」というと、むずかしく思われるかもしれないけど、でも、楽しい語りだってある。演劇の持つ幅広い楽しさを全部盛り込んで芝居を創ってみたい。歌や踊りが雄弁に、あるいは密やかに語り、物語が歌い、踊る、そんな観たこともない演劇を思い描いている。

串田和美

2016.11.7 (MON) - 30 (WED) Bunkamura シアターコクーン

11月	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	祝	木	金	土	日	月	火	水	
14:00			●	休		●	●		●	★	休		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
19:00	●	●		演	●	●		●		★	演	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

★=11/16 (水) 昼夜公演は、映像収録のため場内にカメラを設置いたします。予めご了承くださいませ。

<チケット料金 (全席指定・税込)> S席 10,000円 A席 8,000円 コクーンシート 5,000円

<チケット取扱い>

※コクーンシートは、特にご覧になりにくいお席です。ご了承の上、ご購入ください。

▶Bunkamura

オンラインチケット MY Bunkamura (要事前登録)
<http://my.bunkamura.co.jp> (PC・スマホ共通 / 座席選択可能)
 チケットセンター 03-3477-9999 (オペレーター対応 / 10:00 ~ 17:30)
 チケットカウンター <Bunkamura1F 10:00 ~ 19:00>
 東急シアターオーブチケットカウンター <渋谷ヒカリエ 2F 11:00 ~ 19:00>

<チケットの取扱いについて>

※未就学児童のご入場はご遠慮いただいております。
 ※0570で始まる電話番号は、一部の携帯・IP・CATV接続電話、PHSからはご利用できません。
 ※音声自動応答での受付番号は、ダイヤル回線からのご利用はできません。
 ※営利目的でのチケットのご購入ならびに転売は固くお断りいたします。
 ※車椅子スペースには限りがございます。車椅子でご観劇のお客様は座席指定券をご購入のうえ、お早目にBunkamuraへご連絡ください。また、お座席でご観劇の場合も当日スムーズにご案内をさせていただくため、公演日前日までにご購入席番をBunkamuraへご連絡ください。

【チケットに関するお問合せ】

Bunkamura チケットセンター 03-3477-9999 (10:00 ~ 17:30)

【公演に関するお問合せ】

Bunkamura 03-3477-3244 (10:00 ~ 19:00) <http://www.bunkamura.co.jp/>

▶チケットぴあ

<http://w.pia.jp/t/metropolis/> (PC・携帯・スマホ共通)

0570-02-9999 (音声自動応答 / Pコード: 452-594)

セブン-イレブン、サークルK・サンクス、チケットぴあ各店舗

※店舗により営業時間が異なります。

詳しくはHPにてご確認ください。(<http://pia.jp/shoplist/>)

※火・水曜日の2:30 ~ 5:30はシステムメンテナンスのためお申込みいただけません。

▶イープラス

<http://eplus.jp/metropolis/> (PC・携帯・スマホ共通)

ファミリーマート各店舗 (店内 Fami ポート)

※PC・スマホ・Fami ポートは画面で座席が選べます。

▶ローソンチケット

<http://l-tike.com/metropolis/> (PC・携帯・スマホ共通)

0570-084-003 (音声自動応答 / Lコード 33771)

0570-000-407 (オペレーター対応 / 10:00 ~ 20:00)

ローソン、ミニストップ各店舗 (店内 Loppi)

チケット好評発売中!

主催 / 企画・製作: Bunkamura